令和５（2023）年度
私費外国人留学生選抜
学生募集要項

新型コロナウイルス感染拡大の状況により，
試験日程・選抜方法等が変更になる場合があります。
最新情報は本学ウェブサイトでご確認ください。
（入試情報　http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）

学　　類	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
人間発達文化学類	12月５日(月) ～ 12月８日(木)	２月26日(日)	３月６日(月)	３月７日(火) ～ ３月15日(水)
行政政策学類		２月10日(金)	２月16日(木)	
経済経営学類		２月４日(土)	２月９日(木)	２月13日(月) ～ ２月17日(金)
共生システム理工学類		１月18日(水)	１月26日(木)	
食農学類				

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

〒960－1296
福島市金谷川１番地
☎024－548－8064（入試課）
http://www.fukushima-u.ac.jp/

福島大学
スマートフォン対応サイト

目　　次

ページ

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）……1
Ⅱ　募集人員等……8
Ⅲ　出願資格……9
Ⅳ　選抜方法……10
Ⅴ　試験日程等……14
Ⅵ　出願手続……15
Ⅶ　障がい等のある入学志願者の事前相談……19
Ⅷ　合格者発表……19
Ⅸ　入学手続……20
Ⅹ　不正行為の禁止について……21
ⅩⅠ　入試情報の公開（開示）について……21
ⅩⅡ　入学志願者の個人情報保護について……22
ⅩⅢ　東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において
被災された方に対する検定料の免除について……23
ⅩⅣ　入試における新型コロナウイルス感染症対応について……24
ⅩⅤ　そ　の　他……26
ⅩⅥ　令和６（2024）年度人間発達文化学類スポーツ健康科学コースにおける
本学が実施する試験の一部変更について ―予告―……26
○福島大学案内図……本要項末

Ⅰ．アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は，正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて，自ら学び，主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また，東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし，「新たな地域社会の創造」に取り組み，人口減少や高齢化，環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21世紀的課題」を自分事として捉え，複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え，確かな専門知識や技術，実践的なスキル，「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では，以下の要件を満たす学生を募集します。なお，「求める学生像」の具体的内容は，学類のアドミッション・ポリシー（ＡＰ）で示します。

１．〈福島大学の教育目標〉を理解していること
２．地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
３．そのために，①選択した領域の専門知識，②問題を発見し探究する力，③広い教養と知的関心，④グローバルな視野，⑤主体的に多様な人々と協働する力，を自ら向上させようとする意欲があること
４．福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力，思考力・表現力・コミュニケーション能力，現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では，すべての学類の入学者選抜において，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下，「主体性等」）」の「学力の３要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 ＼ 評価方法	〈学力の３要素〉				
	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等	
	知識・技能	思考力・判断力	表現力	意欲・関心・態度（主体性）	協働性
大学入学共通テスト，個別学力検査	○	○			
実技（実績評価）	○		○		
小論文，課題論文，課題レポート	○	○	○		
総合問題	○	○			
口頭試問，面接	○	○	○	○	
集団討論		○	○		○
ポスタープレゼンテーション	○	○	○	○	
調査書				○	○
推薦書（学校）	○			○	
自己推薦書，志願理由書			○	○	

総合型選抜と学校推薦型選抜では，下表に記した方法で，学力の３要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類（芸術・表現コース）	小論文，面接，実技検査		面接
人間発達文化学類（スポーツ健康科学コース）	実技実績調査書（第1次選抜） 小論文，面接，実技実績評価（第2次選抜）	小論文，面接	面接
行政政策学類（夜間主）	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート（第1次選抜） 大学入学共通テスト（第3次選抜）	課題レポート（第1次選抜）	
		集団討論および面接（第2次選抜）	
共生システム理工学類	ポスター内容（第1次選抜） 総合問題（第2次選抜）	ポスター内容（第1次選抜）	志願理由書
	ポスタープレゼンテーション（第2次選抜）		
食農学類	自己推薦書（第1次選抜），課題論文（第2次選抜）		面接（第2次選抜）

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト，面接		面接
行政政策学類	調査書（評点），小論文	小論文，面接	面接
経済経営学類（A推薦）	調査書（評点），語学資格・検定基準	小論文，面接	面接
経済経営学類（B推薦）	調査書（評点），簿記検定試験の合格	小論文，面接	面接
共生システム理工学類	調査書（評点），小論文	小論文，面接	面接

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

１．人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では，生涯にわたる発達への支援や，人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて，学校はもちろんのこと，行政や企業，地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち，卒業までに次の４つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち，個々の事象を複数の観点から捉える力
・人や文化の多様性を理解し，共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
・学問固有の問いの立て方，ものの見方・考え方を身に付け，それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には，教育実践，心理学・幼児教育，特別支援・生活科学，芸術・表現，人文科学，数理自然科学，スポーツ健康科学の７つコースがあり，１年生の前期（第１セメスター）から各コースのいずれかに所属することになります。

２．入学試験の種類と内容

本学類では，次の入学試験を実施します。

［一般選抜・前期日程］募集人員 154 人
［一般選抜・後期日程］募集人員　12 人
［総合型選抜］　　募集人員　20 人
［学校推薦型選抜］　　募集人員　74 人

入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は，人間に対する理解だけでなく，高校で学んだ人文科学や社会科学，生活科学，数理科学，芸術，スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。本学類では，以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1)　高校時代までの基礎的な学力・実技能力
(2)　得意分野に関する優れた理解・技能（以下のうち１つ以上）
　・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
　・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
　・音楽や美術において優れた技量を有している。
(3)　教育・人間・文化・社会への問題意識，および人間発達支援に対する強い意志

〔行政政策学類〕

１．行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では，21 世紀の地域社会が直面している諸課題について，広く学際的な観点から学び，より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために，卒業までに次の５つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は，働きながら学ぶ人，様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し，調査・分析する能力
・発見し，調査・分析した諸課題につき，解決する能力
・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
・修得した知識・考察した結果を発表し，議論する能力

行政政策学類には，「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の２コースがあり，２年生の前期（第３セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

２．入学試験の種類と内容

本学類では，次の入学試験を実施します。

［昼間の一般選抜・前期日程］募集人員 108 人

入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。

［昼間の一般選抜・後期日程］募集人員 35 人

入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。

［昼間の学校推薦型選抜］　　募集人員 42 人

調査書（全体の学習成績の状況（評定平均値）4.3 以上），志願理由書（「法・地域・行政・社会・文化について関心がある者」）提出を推薦要件とし，個別学力検査（小論文）と面接によって実施。

［夜間主の総合型選抜］　　募集人員 20 人

志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

21 世紀の地域社会が直面している諸課題について，広く学際的な観点から学び，より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために，以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1)　高校時代までの基礎的な学力（以下のうち１つ以上）

・国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。

・上記科目のうち，いずれか３科目について，優れた知識を有している。

(2)　現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力（以下のうち１つ以上）

・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力

・政治，経済，社会的な問題などに関心を持ち，深く考察する態度

・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

〔経済経営学類〕

１．経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では，経済と経営の専門知識を身に付け，現代の経済社会を理解し，課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし，卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・経済学と経営学の専門知識

・エビデンスにもとづいて論理的に思考する力

・フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力

・グローバルに思考し実践に進む力

・キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には，「経済学コース」「経営学コース」の２コースがあり，２年生の後期（第４セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

２．入学試験の種類と内容

本学類では，次の入学試験を実施します。

［一般選抜・前期日程］　　募集人員　114 人

［一般選抜・後期日程］　　募集人員　 40 人

［総合型選抜］　　募集人員　 11 人

［学校推薦型選抜・A 推薦］募集人員　 25 人

［学校推薦型選抜・B 推薦］募集人員　 25 人

［私費外国人留学生選抜］　募集人員　　5 人

入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と，社会での実践力を大学において身につけるために，以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1)　高校時代までの基礎的な学力
　　：国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。
(2)　読解力・思考力・知識活用力・表現力
(3)　現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲
(4)　得意分野に関する優れた学力・実績（学校推薦型選抜に該当）
　　：学校推薦型選抜では，上記の(1)・(2)・(3)に加え，以下の点を評価します。

● 学校推薦型選抜（以下のうち１つ以上）
　Ａ推薦：英語等の外国語に関する優れた知識，ないし関連資格を有している。
　Ｂ推薦：簿記に関連する優れた知識，ないし関連資格を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

１．共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では，21 世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき，人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で，卒業までに次の４点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
・論理的で的確な立案力と決定力
・学際的・国際的に実践する力
・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では，１年生で数学，物理学，化学，生物学，地球科学，プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに，「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システム的に捉える力を養います。２年生の前期（第３セメスター）から専門領域名を冠した９つのコース*の中から１つを選択して専門領域を深く学び，３年生の後期（第６セメスター）からは研究室に配属されて，演習や卒業研究を行います。

＊９コース：数理・情報科学コース，経営システムコース，物理・システム工学コース，物質科学コース，エネルギーコース，生物環境コース，地球環境コース，社会計画コース，心理・生理コース

２．入学試験の種類と内容

本学類では４種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

［総合型選抜］　　募集人員 25 人

高等学校までの学習全般を含む総合問題，自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑，志願理由書および調査書により，高等学校の基礎的な学力，論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

［学校推薦型選抜］募集人員 23 人

小論文，面接，志願理由書および調査書により，基礎学力，理解力，論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が 4.0 以上の人を対象としており，高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

［３年次編入学］　募集人員 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に，面接と提出書類（志願理由書，推薦書，調査書）により，本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち，学習意欲が高い人を選抜します。

［一般選抜］　　募集人員 前期日程 70 人，後期日程 42 人

理科１科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査，大学入学共通テスト（５教科７科目）および調査書により，基礎的な科目を広く習得し，理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために，以下に掲げる力を有している学生を求めます。

(1)　高校までに身につけるべき基礎学力
(2)　論理的な思考力
(3)　自然現象や様々な課題を観察し分析する力
(4)　観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

農学群

〔食農学類〕

１．食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では，食品産業や農林業の第一線で活躍することや，行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち，卒業までに次の４つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

・農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
・異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
・グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
・温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では，２年生の後期（第４セメスター）から，食品科学コース，農業生産学コース，生産環境学コース，農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは，次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

・食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに，地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
・農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病害虫管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより，安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。
・生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し，管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復やＩＣＴ等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
・農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく，協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

２．入学試験の種類と内容

食農学類では期待する人材を求めて，４種類の入学試験を実施いたします。

それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

［一般選抜・前期日程］　　募集人員 60 人

大学入学共通テストの５教科７科目（国語，地理歴史・公民（１科目），数学（２科目），理科（２科目），外国語），個別学力試験の２科目（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ），英語から２科目選択）で実施。

［一般選抜・後期日程］　　募集人員 20 人

大学入学共通テストの５教科７科目（国語，地理歴史・公民（１科目），数学（２科目），理科（２科目），外国語），個別学力試験の１科目（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ），英語から１科目選択），および面接で実施。

［総合型選抜・地域社会貢献枠］募集人員 概ね 10 人

自己推薦書と調査書によって第１次選抜を行い，第１次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第２次選抜を実施。

福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者，あるいは福島県外

の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内か出身県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者で，指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

［総合型選抜・実践教育経験枠］募集人員 概ね 10 人

自己推薦書と調査書によって第１次選抜を行い，第１次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第２次選抜を実施。

高等学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科），総合学科，あるいは中等教育学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科）を卒業見込みの者，または高等専門学校の第３学年を修了見込みの者で，農学を学ぶ強い意欲を持ち，かつ指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

３．入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類での成長を実現するために，以下に掲げる力を有している学生を求めます。

(1)　高校までに身に付けるべき基礎学力
(2)　対象を的確に捉える理解力と分析力
(3)　論理的な思考力
(4)　自らの見解を的確に伝える表現力
(5)　常に食と農に関心を寄せる持続力

Ⅱ　募集人員等

学　群	学　　類	コ　　ー　　ス	募集人員
人文社会学群	人間発達文化学類	教育実践コース	各コース 若干名
		心理学・幼児教育コース	
		特別支援・生活科学コース	
		芸術・表現コース	
		人文科学コース	
		数理自然科学コース	
		スポーツ健康科学コース	
	行政政策学類	地域政策と法コース 地域社会と文化コース	若干名
	経済経営学類	経済学コース 経営学コース	５名
理工学群	共生システム理工学類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	若干名
農学群	食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	若干名

【注意事項】

⑴　行政政策学類入学者の所属コースは，１年次後期（第２セメスター）に本人の希望を考慮して決定します。

⑵　経済経営学類入学者の所属コースは，２年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

⑶　共生システム理工学類入学者の所属コースは，１年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

⑷　食農学類入学者の所属コースは，２年次前期終了時に決定します。

Ⅲ　出　願　資　格

次の⑴⑵⑶⑷の条件をすべて満たす者とします。

⑴　日本国籍を有しない者

（注）　日本国籍を有しない者であっても，日本の高等学校等を卒業した者または令和５（2023）年３月卒業見込みの者，および日本の永住許可を得ている者（特別永住者を含む）は，この選抜には出願できません。

⑵　出入国管理及び難民認定法において大学入学資格に支障のない在留資格を有する者および取得できる見込みの者

（注）　在留資格によっては，本学の私費外国人留学生選抜に出願できない場合があるので，事前に本学入試課（17 ページの出願書類提出先参照）に照会してください。

⑶　次のいずれかに該当する者

①　外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者（令和５（2023）年３月までに修了見込みの者を含む），またはこれに準ずる者で，文部科学大臣の指定した者

②　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

③　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

④　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

⑤　国際的な評価団体（ＷＡＳＣ，ＣＩＳ，ＡＣＳＩ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者または令和５（2023）年３月 31 日までに修了見込みの者

⑥　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和５（2023）年３月 31 日までに 18 歳に達する者※

⑷　独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験を各学類が指定した方法で受験した者

※　出願資格の⑶⑥により出願を希望する者については，個別審査を行いますので，本学所定の申請書に必要事項を記入し，必要書類を添えて令和４（2022）年 11 月 10 日㈭〔午後５時必着〕までに提出してください。なお，個別審査の申請に必要な書類については本学入試課へ問い合わせるか，本学ウェブサイトの「入試情報」（http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）を参照してください。

Ⅳ　選　抜　方　法

人間発達文化学類

⑴　入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績と，本学が実施する試験の成績の総合点により判定します。

⑵　出願者は，出願時においてすでに終了した直近の試験を含む２回（2022 年の６月，11 月）の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。また，志望するコースに応じて⑶に示す指定科目を受験しなければなりません（日本語と数学は必須。理科と総合科目はいずれかを選択）。出題言語は，日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

⑶　試験科目および配点等

日本留学試験 200 点，本学が実施する小論文・実技検査 200 点，面接 200 点，合計 600 点とします。日本留学試験は，日本語 450 点（記述試験を含む）を 100 点に圧縮，総合科目・理科・数学 200 点をそれぞれ 50 点に圧縮して利用します。

<table>
<tr><th rowspan="2">志望するコース</th><th colspan="4">日本留学試験で受験が必要な教科</th><th rowspan="2">本学が実施する試験
（必　須）</th><th rowspan="2">総合点</th></tr>
<tr><th>日本語</th><th>総合
科目</th><th>理科</th><th>数学</th></tr>
<tr><td>教育実践コース</td><td rowspan="3">100</td><td rowspan="3">(50)</td><td rowspan="3">(50)</td><td rowspan="3">50</td><td rowspan="3">小 論 文：200 点
面　　接：200 点</td><td rowspan="7">600 点</td></tr>
<tr><td>心理学・幼児教育コース</td></tr>
<tr><td>特別支援・生活科学コース</td></tr>
<tr><td>芸術・表現コース</td><td>100</td><td>(50)</td><td>(50)</td><td>50</td><td>実技検査：200 点
面　　接：200 点</td></tr>
<tr><td>人文科学コース</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2">(50)</td><td rowspan="2">(50)</td><td rowspan="2">50</td><td rowspan="2">小 論 文：200 点
面　　接：200 点</td></tr>
<tr><td>数理自然科学コース</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学コース</td><td>100</td><td>(50)</td><td>(50)</td><td>50</td><td>実技検査：200 点
面　　接：200 点</td></tr>
</table>

（注）１．配点に（　）を付してある教科は，選択教科を表します。

２．理科（物理・化学・生物）における理科２科目，および数学のコース１・２の選択は自由とします。

３．小論文もしくは実技検査を受験しなかった者は，面接を受験することはできません。

⑷　小論文については，資料を与え，それに関連して 900 字から 1,200 字程度（日本語）で論述させ，理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

⑸　面接については，志望するコースの学生としての学習意欲・学習能力・適性等を日本語会話能力とともに総合的に評価します。

⑹　実技検査

<table>
<tr><td rowspan="2">芸術・表現
コースの
実技検査</td><td>音
楽</td><td>音楽実技は，楽典（音楽史は含みません）をすべての受験者に課します。さらに，ピアノ，声楽，任意の楽器（鍵盤楽器以外），作曲，音楽に関する記述問題の５つの科目から２つ（１つを主科目にし，もう１つを副科目にする）を出願時に選択します。

⑴　ピアノ
主科目にする場合は①から④の中から受験者が１曲を選び，くりかえしなしで暗譜演奏します。副科目にする場合は，⑤をくりかえしなしで暗譜演奏します。
① ハイドン作曲　ピアノソナタ　ヘ長調　Hob.XVI/23　第１楽章
② モーツァルト作曲　ピアノソナタ　イ短調　KV310　第１楽章
③ モーツァルト作曲　ピアノソナタ　変ロ長調　KV570　第１楽章
④ ベートーヴェン作曲　ピアノソナタ　ハ短調　作品 10 の１　第１楽章
⑤ ベートーヴェン作曲　ピアノソナタ　ト長調　作品 49 の２　第１楽章
⑵　声　楽
実技検査当日に，主科目にする場合は①から③の中から，副科目にする場合は④と⑤の中から大学側が１曲を選び，暗譜で歌わせます（歌詞は原語でも邦訳でもよい）。指定の調以外で歌う者は，願書提出の際，その伴奏譜を添付すること。
①　ジョルダーニ作曲　「Caro mio ben（いとしいひとよ）」
（ヘ長調，変ホ長調，ハ長調）
②　シューマン作曲　「Du bist wie eine Blume 君は花のように」
（変イ長調，変ト長調）
③　越谷達之助作曲　「初恋」（ヘ長調，変ホ長調）
④　コンコーネ 50 番から No.16（ヘ長調，ニ長調，ハ長調）
⑤　弘田龍太郎作曲　「浜千鳥」（変ホ長調，ハ長調）
⑶　任意の楽器
受験者が用意した任意の楽器で任意の曲の演奏を行います。
楽器は鍵盤楽器以外で，各自が用意してください。演奏は無伴奏とします。
⑷　作　曲
和声課題（四声体バス課題，12 小節程度，「３和音基本位置」程度まで）を解きます（60 分）。
⑸　音楽に関する記述問題
音楽あるいは音楽教育に関する課題について，1,000 字程度で答えます（60 分）。</td></tr>
<tr><td>美
術</td><td>美術実技は，素描（鉛筆デッサン）を課し，基礎表現力を評価します。
形態の把握力，観察力，表現力，描写力を重視して考査します（180 分）。

（持参品）
鉛筆，消し具，カッターナイフ</td></tr>
</table>

スポーツ健康科学コースの実技検査	体育実技は，運動技能検査とし，下記のとおり実施します。 出願時に選択された１種目（次の９種目の中から１種目を選択する）について，その技能を評価します。 ⑴　陸上競技 共通種目：快調走，メディシンボール投，立５段跳 指定種目から１種目選択：(100m・300m・600m・3,000m・110mJH（女子 100mH）・高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投) ⑵　体操競技 体操競技男子６種目（ゆか，鞍馬，つり輪，跳馬，平行棒，鉄棒） 体操競技女子４種目（ゆか，跳馬，平均台，段違い平行棒）の自由演技 ⑶　剣　　道 基本技能（素振り，切り返し等），対人技能（互格稽古） ⑷　ダンス 現代的なリズムのダンス（リズミカルな動きの連続） フォークダンス（基本ステップ） 創作ダンス（課題テーマで創作した５分以内の作品の発表） ⑸　サッカー ドリブルやキックなどのテクニック，例えば３対３などの少人数でのゲーム ゴールキーパーについては他の課題も加えます。 ⑹　バレーボール 個人技能（パス，レシーブ，スパイク，サーブ） 集団技能（３人レシーブ） ⑺　バスケットボール 対人試技を通じて個々のファンダメンタル（ボディーコントロール，ステップワーク，シュート，ドリブルの技能）および複数プレイヤーによるコンビネーションプレイ ⑻　テニス（ソフトテニスは含みません） 基本技能（ストローク，ボレー，スマッシュ，サービス） 応用技能（アプローチショット，ボレー＆スマッシュ，サービスダッシュ） 試合（シングルス，ダブルス） ⑼　総合種目（⑴～⑻に選択する種目がない場合等） 「調整力」,「瞬発力」,「持久力」の３領域のうち２領域の運動能力について評価します。 「調整力」は必須です。残りの１領域は「瞬発力」と「持久力」のいずれかを出願時に選択してください。「調整力」は，全身の身体操作能力（バランス能力や身体運動における巧緻性）を評価します。 （注）　技能検査の種目および総合種目の領域の選択は，入学志願票提出時に，あらかじめ届け出ておかなければなりません。また，出願後に種目および領域を変更することはできません。 （持参品）　運動着および次に示すもの 陸上競技　　スパイクシューズ（ピン９㎜以下）・スローイングシューズを持参してもかまいません。 体操競技　　体操競技に適した用具・服装 剣　　道　　竹刀，剣道具 ダンス バレーボール バスケットボール } 屋内用運動靴 テニス　　ラケット，テニスシューズ 総合種目 サッカー } 屋内および屋外用運動靴 （注）　１．実技検査の受験に当たっては，運動着に着替えを済ませて集合してください。集合後に着替えの時間はとりません。 ２．実技検査中の怪我，急病に備えて，健康保険証またはその写しを持参してください。 ３．天候により変更になることがあります。

行政政策学類

⑴　入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績（600 点）と，本学が実施する試験の成績（200 点）の総合点（800 点）により判定します。

⑵　出願者は，出願時においてすでに終了した直近の試験を含む３回（2021 年の 11 月および 2022 年の６月,11 月）の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。なお受験科目は，日本語を必須とし，その他３教科から選択された１教科の計２教科を用います。教科および教科内のコース・科目の選択は指定しません。出題言語は，日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

⑶　試験科目および配点等

志望するコース	日本留学試験で受験が必要な教科				本学が実施する試験	総合点
	日本語（必　須）	総合科目	理　　科	数　　学	面　　接（必　須）	
地域政策と法コース 地域社会と文化コース	400	(200)	(200)	(200)	200	800

（注）１．配点に（　）を付してある教科は，選択教科を表します。
２．日本語試験のうち，記述試験は日本語の配点から除外します。
３．理科（物理・化学・生物）における理科２科目，および数学のコース１・２の選択は自由とします。

⑷　面接の評価基準等

質問に基づき「①学習意欲」と「②日本語の能力（主に会話力）」を総合的に評価します。②については，質問の内容を正しく把握しているか，また質問の内容にふさわしい回答になっているか，発音や話し方等の点で，受験生の意思が質問者によくわかるかどうか等について留意して評価します。なお，学習意欲，日本語能力以外の部分で特筆すべき点があった場合には，その点を加味し得るものとします。

なお，面接の採点については，２名の面接委員がそれぞれ，Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階で評価し，点数化します。ただし，２名の面接委員が与えた評価がともにＤの場合は不合格とします。

経済経営学類

⑴　入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績と，本学が実施する小論文および面接の結果等を総合して行います。

⑵　出願者は，出願時においてすでに終了した直近の試験を含む３回（2021 年の 11 月および 2022 年の６月，11 月）の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は，文系３教科【日本語，総合科目，数学〈コース１またはコース２を選択〉】または理系３教科【日本語，理科〈物理，化学，生物から２科目選択〉，数学〈コース１またはコース２を選択〉】のいずれかを選択してください。出題言語は，日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

⑶　試験科目および配点等

日本語 450 点を 400 点に圧縮し，これに⑵で述べた日本留学試験の日本語以外の科目 400 点を加えて 800 点とし，さらにこれを 400 点に圧縮します。この日本留学試験 400 点，本学が実施する小論文 200 点，面接 200 点，合計 800 点で判定します。

⑷　小論文については，一定の素材を与え，それに関連して 1,200 字以内（日本語）で論述させ，理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

⑸　面接については，質問に基づき，問題意識，勉学意欲，日本語能力等を総合的にみます。

共生システム理工学類

⑴　入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績と，本学が実施する面接の成績の総合点により判定します。

⑵　出願するためには，2022 年６月または 2022 年 11 月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は，日本語，理科〈物理，化学，生物から２科目選択〉，数学〈コース２〉です。出題言語は，日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

⑶　試験科目および配点等
日本留学試験 100 点（850 点を 100 点に圧縮），本学が実施する面接 100 点，合計 200 点とします。

⑷　面接では，勉学意欲，日本語能力，理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。
なお，新型コロナウイルス感染拡大の状況により，オンライン面接となる場合があります。最新情報は本学ウェブサイト（入試情報 http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）を参照してください。

食　農　学　類

⑴　入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績と，本学が実施する試験の成績の総合点により判定します。

⑵　出願するためには，2022 年６月または 2022 年 11 月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は日本語，理科〈物理，化学，生物から２科目選択〉，数学〈コース２〉です。出題言語は，日本語に限ります。

⑶　試験科目および配点等
日本留学試験 100 点（850 点を 100 点に圧縮），本学が実施する面接および口頭試問 100 点，合計 200 点とします。

⑷　面接および口頭試問では，勉学意欲，日本語能力，理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

Ⅴ　試験日程等

１．試験日程

<table>
<tr><th>学　類</th><th>試験月日</th><th>試験項目</th><th colspan="2">試験時間</th></tr>
<tr><td rowspan="3">人間発達文化学類</td><td rowspan="3">令和５（2023）年
２月 26 日㈰</td><td>小論文</td><td>10：00～11：30</td><td rowspan="3">芸術・表現コース（美術）の「美術実技」受験者のみ
素　描　10：00～13:00
面　接　14:00～</td></tr>
<tr><td>実技検査</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>面　接</td><td>13：00～</td></tr>
<tr><td>行政政策学類</td><td>令和５（2023）年
２月 10 日㈮</td><td>面　接</td><td colspan="2">試験の２週間前までに本学ウェブサイト「入試情報」で公表します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">経済経営学類</td><td rowspan="2">令和５（2023）年
２月４日㈯</td><td>小論文</td><td colspan="2">10：00～12：00</td></tr>
<tr><td>面　接</td><td colspan="2">13：00～</td></tr>
<tr><td>共生システム理工学類</td><td>令和５（2023）年
１月 18 日㈬</td><td>面　接</td><td colspan="2">12 月中に本学ウェブサイト「入試情報」で公表します。</td></tr>
<tr><td>食農学類</td><td>令和５（2023）年
１月 18 日㈬</td><td>面　接</td><td colspan="2">12 月中に本学ウェブサイト「入試情報」で公表します。</td></tr>
</table>

（注）　人間発達文化学類において，入学志願者数により面接開始時刻を繰り上げることがあります。

２．試験場

小論文，実技検査，面接は，本学内で行います。

本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験室および控室については試験当日，受験に関する掲示板に掲示します。

３．試験当日持参するもの

⑴ **福島大学受験票**

⑵ **日本留学試験受験票**

⑶ 旅券

⑷ 筆記用具（鉛筆，シャープペンシル，鉛筆削り，消しゴム）

⑸ 時計（計時機能だけのもの）

⑹ 実技検査に必要なもの※（実技検査受験者のみ）

※11～12 ページに記載してありますので，受験する実技検査の項目をよく確認してください。

Ⅵ　出　願　手　続

⑴　出願方法の確認（Step１）

出願手続の手順については，本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」(http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録（下記 Step２）だけでは出願手続は完了しません。

Step１	出願方法の確認 （詳細は 16 ページ）	出願手続を始める前に，この学生募集要項をよく読んで，内容を確認してください。
▼		
Step２	インターネット出願登録 （詳細は 16 ページ）	出願登録期間内に，インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
▼		
Step３	検定料の支払い （詳細は 17 ページ）	インターネット出願サイトの指示に従い，検定料を支払ってください（検定料免除申請をする場合は支払わないでください）。
▼		
Step４	必要書類の作成・印刷・送付 （詳細は 17～19 ページ）	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と，他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「一般書留速達」で郵送してください。
▼		
Step５	受験票の印刷 （詳細は 19 ページ）	出願が受理された方は，出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して，必ず試験当日に持参してください。

⑵　事前準備（Step１）

インターネット出願登録の前に，あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は，以下の環境で行ってください。 〈Windows〉 ・Microsoft Edge（最新バージョン） ・Google Chrome（最新バージョン） ・Firefox（最新バージョン） 〈Mac OS〉 ・Safari（最新バージョン） 〈Android 5.0以上〉 ・Android Chrome 〈iOS 10.0以上〉 ・Safari ※　最新バージョン以外でも利用することはできますが，正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。また，その場合は最新バージョンへアップデートしてご利用ください。
メールアドレスの準備およびメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので，事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン，携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお，ドメイン指定受信を設定されている方は，次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 （@adb.fukushima-u.ac.jp，@postanet.jp） 出願時に登録したメールアドレスに，以下の４～５回メールが送信されます。 ①　インターネット出願登録入力中のテストメール ②　出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③　検定料支払完了時の自動送信メール（検定料免除の場合は送信されません） ④　顔写真が承認または非承認された際のメール ⑤　受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※　受験票を印刷するまで，メールアドレスは変更しないでください。
入学志願者本人写真(データ)の準備	インターネット出願登録にあたって，カラーの顔写真データ（jpg）が必要です（受験票に顔写真が掲載されることになります）。 写真は本人確認に使用しますので，インターネット出願サイトにて出願前３か月以内に正面向，上半身，脱帽，背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦４㎝×横３㎝，ファイルサイズは３ＭＢまでです。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような，本人確認に支障のある写真の場合は，出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明，背景が暗い，顔が横向き，化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難，複数名で写っている，画像に加工を施している，**現像された写真を再撮影しているもの**等。
必要書類等の準備	⑺出願書類等（17～18ページ）記載の書類を，出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。
出願書類提出用封筒の準備	出願書類提出のために，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）を準備してください。
様式印刷の準備（プリンタ，印刷用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は，Ａ４サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので，カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば，公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが，個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は，本人に問い合わせをする場合があります。

⑶　インターネット出願登録期間（Step２）

令和４（2022）年12月３日㈯～12月８日㈭　　午後４時30分まで

⑷　検定料の支払い（Step３）

検定料は **17,000 円**です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して，「クレジットカード」「コンビニエンスストア」「ペイジー（ネットバンキング・銀行ＡＴＭ）」のいずれかの方法で払い込んでください（払込手数料が別途必要です）。

【払込期間】

令和４（2022）年 12 月３日㈯～12 月８日㈭　午後４時 30 分まで

なお，支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む４日間です（出願締切が４日より短い場合，出願締切が優先されます）。

出願書類を受理した後は，いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし，次の場合は検定料返還請求ができますので，下記に申し出てください。

ア．検定料を払い込んだが，出願しなかった（出願書類を提出しなかった，または出願が受理されなかった）

イ．検定料を誤って二重に払い込んだ

ウ．出願期間終了までに，検定料免除に該当することを証明する書類を取得できなかったものの，出願期間終了後に取得した

なお，請求方法等については，該当者へ個別に通知します。

また，返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問い合わせ先：福島大学財務課出納係

☎024－548－8015

※検定料免除について

本学では，東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成 23（2011）年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し，被災受験者の進学機会の確保を図るために，令和４（2022）年度に行われる全ての入試において，検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については 23 ページの「XIII　東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお，検定料免除申請を行う場合は，出願時に検定料を払い込まないでください。

⑸　出願期間（Step４）

令和４（2022）年12月５日㈪～12月８日㈭　　午後５時まで

⑹　出願書類提出先（Step４）

福島大学入試課　〒960－1296　福島市金谷川１番地　☎024－548－8064

⑺　出願書類等（Step４）

入学志願者は，次表の書類を取り揃え，**一般書留速達にして郵送してください。**出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。ただし，令和４（2022）年 12 月７日㈬以前の発信局消印のある一般書留速達に限り，期限後に到着した場合でも受理します。出願期間最終日当日の発信局消印の一般書留速達は，受理しません（出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため）。持参の場合，入試課の窓口受付時間は平日の午前９時から午後５時までです。

出願に必要な書類	摘　　要
１．入学志願票	インターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷してください。 国籍，在留資格および在留期間は，旅券または在留カードに記載されているものを記入してください。出願時に在留資格を取得していない場合は，入国する際に申請する予定のものを記入してください。
２．志願理由書	本学ウェブサイトの様式をＡ４サイズでモノクロ印刷し，入学志願者本人が自筆で作成してください。
３．出願資格を有することの証明書（原本） ※日本語以外で書かれた証明書には，その日本語訳を必ず添付してください。	◇本要項９ページの出願資格⑶①に該当する者 外国において，学校教育における 12 年の課程を修了（卒業）した証明書
	◇本要項９ページの出願資格⑶②に該当する者 国際バカロレア資格証書
	◇本要項９ページの出願資格⑶③に該当する者 アビトゥア資格証書
	◇本要項９ページの出願資格⑶④に該当する者 バカロレア資格（フランス共和国）証書
	◇本要項９ページの出願資格⑶⑤に該当する者 ⑴ 修了または修了見込証明書 ⑵ 当該教育施設が認定を受けた証明書
	◇本要項９ページの出願資格⑶⑥に該当する者 本学から発行された「入学資格認定書」
４．成績証明書 ※日本語以外で書かれた証明書には，その日本語訳を必ず添付してください。	出身学校が作成した原本を提出してください。 原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し，切手を貼り付けて，出願書類に同封してください。
５．日本留学試験の受験票の写しまたは成績通知書の写し	文字がはっきりと判別できるように写しをとってください。
６．住民票の写しまたは在留カードの写し	市町村長の交付する住民票の写し（国籍，在留資格，在留期間が記載されたもの），または在留カードを提出してください。在留カードを所持していない者については，旅券の写し（記載事項のあるページ全て）を提出してください。
７．検定料免除申請書および添付書類（申請者のみ）	本学ウェブサイトの様式をＡ４サイズでモノクロ印刷し，作成してください。パソコンによる作成も可です。 免除の条件については 23 ページの「Ⅻ　東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。
８．出願書類提出用封筒	各自で準備した市販の角形２号（240㎜×332㎜）の封筒に，上記１～７の必要書類で該当するものを封入し，一般書留速達にして郵送してください。 なお，角形２号（240㎜×332㎜）の封筒に出願書類等が入らない場合は，異なるサイズの封筒を使用してください。
９．出願書類提出用宛名シート	インターネット出願サイトからカラーで印刷し，「８．出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し，宛名シートの出願者チェック欄において，出願書類に漏れがないことをチェックしてください。

（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html））

⑻　出願書類作成上の注意（Step４）

①　インターネット出願登録完了後は，登録内容の修正はできませんので，誤入力のないよう注意してください。
②　自筆で作成する書類は，黒か青のボールペンまたは万年筆を用い，楷書で記入してください。
③　証明書に添付する日本語訳については，入学志願者本人が日本語訳したものでも構いません。
④　押印が必要な書類もありますので注意してください。
⑤　誤って記入した場合は，誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
⑥　住民票の写しまたは在留カード等を出願期間内に提出できない者，また，廃校，被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の成績証明書等を得られない者は，本学入試課へ問い合わせてください。
⑦　出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
・入学志願票等に記入漏れまたは誤記入があるもの
・出願書類として添付が必要な証明書等が同封されていないもの
⑧　出願書類受理後，出願の取り消し，書類の返却および志望等の変更は認めません。
⑨　出願書類について虚偽の記載があった場合は，入学を取り消すことがあります。

⑼　出願状況について

本学ウェブサイトの「入試情報」（http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に公開します。

⑽　受験票の印刷について（Step５）

受験票は，出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。**カラー印刷し**，切り取り線に沿ってはさみで切り，**試験当日に必ず持参してください。**

出願時に登録されたメールアドレスへ，受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが，プロバイダによりメールが届かない場合でも，試験日の３日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

Ⅶ　障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で，受験上および修学上の配慮を必要とする場合は，出願の１か月前までに本学入試課に申し出てください。

Ⅷ　合格者発表

学　　類	発　　表　　日	発　表　時　刻
人間発達文化学類	令和５（2023）年３月６日㈪	午前 11 時
行政政策学類	令和５（2023）年２月16日㈭	
経済経営学類	令和５（2023）年２月９日㈭	
共生システム理工学類	令和５（2023）年１月26日㈭	
食農学類		

合格者の発表は，本学ウェブサイトの「入試情報」（http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に受験番号を掲載するとともに，合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を郵送します。なお，電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は，インターネット回線が混雑するため，つながりにくい場合があります。

Ⅸ　入 学 手 続

１．手続の概要

合格者は，下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は，合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

学　　類	入学手続期間
人間発達文化学類	令和５（2023）年３月７日㈫～３月15日㈬　午後４時必着
行政政策学類	
経済経営学類	令和５（2023）年２月13日㈪～２月17日㈮　午後４時必着
共生システム理工学類	
食農学類	

入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，合格者としての権利を失います。

なお，入学手続完了後に他の国公立大学・学部に入学手続をすることは認められません。

２．入学辞退者の取扱い

入学手続完了後，特別な事情により入学を辞退する場合には，事前に本学入試課まで電話で連絡し，令和５（2023）年３月 31 日㈮午後５時までに「入学辞退願（様式任意。理由を付すこと）」を提出してください。

３．入学時の大学への納入金

入　学　料（予定額）	282,000 円

（注）　１．上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

２．入学手続完了後に，入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む）は，入学料の返還はできません。

（参考）　１．授業料について

授業料は，入学後に口座引落により納入していただきますので，入学時に納入する必要はありません。なお，授業料の金額（予定額）は次表のとおりです。授業料の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

授　業　料（予定額）	前期分　267,900 円 後期分　267,900 円 合計（年額）535,800 円

２．諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

４．入学料・授業料の減免および猶予について

入学料については，経済的理由により期限までに納入が困難な場合に，納入が一定の期間猶予される制度があります。

また，経済的理由により授業料の納入が困難で，かつ，学業成績が優秀と認められる場合には，選考のうえ授業料の減免が許可される制度を実施する予定です。

Ⅹ　不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について
　試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，電子辞書，ＩＣレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は，不正行為となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，不正行為については，警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの
　試験時間中に，次のものを使用してはいけません。
① 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く），電子辞書，ＩＣレコーダー等の電子機器類
※ 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
※ 試験時間中，病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は，受験上の配慮申請が必要です。
② 下敷，コンパス，定規等の補助具
※ これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

Ⅺ　入試情報の公開（開示）について

１．試験問題等の公開について

⑴ 試験問題
　問題を配付した試験については，合格者発表後に公開します。

⑵ 解答例等
　小論文については「出題意図」を，人間発達文化学類の面接および実技検査については「概要とねらい」を合格者発表後に公開します。

⑶ 合格者の最低点について
　合格者の最低点（総合点によるもの）については，学類・コース別に合格者発表時に本学ウェブサイトの「入試情報」(http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/) に公開します。ただし，合格者が 10 人未満の入学試験については公開しません。

２．入学試験個人成績の開示について

入学試験個人成績を本学の定める方法により開示します。
⑴ 開示期間　令和５（2023）年５月８日㈪～５月 31 日㈬
⑵ 開示方法　令和５（2023）年４月上旬，本学ウェブサイトの「入試情報」
　　(http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html) に，開示方法を掲載します。
⑶ 開示内容　日本留学試験の成績（本学の配点による），本学が実施する試験の成績および総合点。

XⅡ　入学志願者の個人情報保護について

本学では，提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき，下記の目的でのみ利用し，その保護に努めます。

○　入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む）に利用するほか，日本留学試験の成績を取得する目的で，独立行政法人日本学生支援機構へ個人情報の一部を送付します。
○　入学手続に関する業務に利用します。
○　入学手続完了者にあっては，入学後の修学指導業務および学生支援業務，授業料徴収業務，入学者の教育方法の改善に利用します。また，入学料免除，授業料免除および各種奨学金の申請（応募）者にあっては，入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

また，出願手続に関する業務を円滑に進めるため，業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して，必要な個人情報を提供しますが，委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ，適切な監督を行います。

XⅢ　東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では，東日本大震災，東京電力福島第一原子力発電所事故，および平成 23（2011）年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し，被災受験者の進学機会の確保を図るために，令和４（2022）年度に行われる全ての入試において，検定料免除の特別措置を以下のとおり行います。

⑴　対　象　者

出願期間までに次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については，検定料を全額免除します。

① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方，または平成 23（2011）年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で，本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失の罹災と認定された方

② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方，または平成 23（2011）年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で，主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方

③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」，「計画的避難区域」，「緊急時避難準備区域」，「特定避難勧奨地点」に平成 23（2011）年３月 11 日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で，これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

<table>
<tr><td>区　　分</td><td colspan="5">検定料免除の可否（可は○，否は×で示しています）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">① 家屋の全・半壊</td><td>全　　壊</td><td>大規模半壊</td><td>半　　壊</td><td>流　　失</td><td>一部損壊</td></tr>
<tr><td colspan="4">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">② 主たる家計支持者が死亡または行方不明</td><td colspan="4">主たる家計支持者</td><td>主たる家計支持者以外</td></tr>
<tr><td colspan="4">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③ 原発事故による影響</td><td>警戒区域</td><td>計画的避難区域</td><td>緊急時避難準備区域</td><td>特定避難勧奨地点</td><td>それ以外の地域</td></tr>
<tr><td colspan="4">○</td><td>×</td></tr>
</table>

注：区域については，再編前の区域としています。

⑵　必 要 書 類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

① 検定料免除申請書（本学所定の様式）
本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）参照

② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し
上記⑴①に該当する場合，「市町村長が発行する罹災証明書」
上記⑴②に該当する場合，「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」
上記⑴③に該当する場合，「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

⑶　必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に出願書類と合わせて提出してください。
なお，検定料免除申請を行う場合は，出願時に検定料を払い込まないでください。

XⅣ　入試における新型コロナウイルス感染症対応について

１．検定料返還について

令和５（2023）年度福島大学私費外国人留学生選抜において，新型コロナウイルス感染症の罹患等により，受験することができない者は，以下のとおり検定料返還を申請することができます。

①　対象者

１）　新型コロナウイルス感染症に罹患し，試験日までに医師が治癒したと診断していない者（無症状の者を含む）

２）　試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者

（注）　ただし，無症状の濃厚接触者については，後掲「２．新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について」による申請により，受験を許可された場合，別室での受験ができます。

３）　海外から日本に入国して受験する場合に,入国後の待機期間中の者

４）　試験当日における対応等について,かかりつけ医等に相談し,受験を取りやめた者

（注）　かかりつけ医等に相談する症状の目安は,①試験当日に息苦しさ（呼吸困難）,強いだるさ（倦怠感）,高熱等の強い症状のいずれかがある場合,②基礎疾患等により重症化しやすい受験生のうち，発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合，③発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合とします。

②　申請期間

試験日の前日および当日　９：00～17：00

③　申請手続

Ａ　申請期間内に本人または代理人が「受験票」と「診断書等（治療期間および検温した体温が明記されたもの)」を持参し,「追試験等申請書」により申請してください。

Ｂ　申請期間内に本人または代理人が来学できない場合は，電話で受付を行います。受付後,「受験票」および「診断書等」の提出が必要となります。

注）診断書等の提出は申請期間の翌日までとします。翌日が土曜・日曜にあたる場合は月曜日，月曜日が祝日にあたる場合は火曜日までとします。

④　申請内容の認否結果について

申請内容の認否については，本人に通知します。

⑤　検定料の返還について

検定料の返還が認められた場合には，別途,「検定料返還請求書」を提出してください。指定する銀行口座に振り込みとなります（ただし，振込手数料を減じた額となります)。

２．新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について

本学を受験予定の方で，保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者のうち，以下のいずれの要件も満たす場合で，本学入試課へ所定の申請手続を行い，受験を許可された場合，別室での受験ができます。

保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者で受験を希望する場合は，まずは速やかに本学入試課に電話でご連絡ください。なお，原則として入試２日前の午前 10 時までに入試課にご連絡をお願いします。

【受験を認める要件】

①　初期スクリーニング（自治体または自治体から指示された医療機関が実施するＰＣＲ等の検査（行政検査))の結果，陰性であること

※　初期スクリーニングの検査実施後，検査結果が判明するまでは受験不可となります。

※　ただし，行政検査が実施できない自治体の受験生については，可能であれば抗原定性検査キットにより陰性確認を行った上で，②③の要件を満たせば受験が可能です。

② 公共の交通機関（電車，バス等）を利用せず，かつ，人が密集する場所を避けて試験場に来ることができること（自家用車等を利用すること）
③ 受験当日も無症状であること
（注１） 本学入試課への申告後に別室での受験に問題がないと判断された場合，申請者へ確認を行うと同時に，速やかに郵送またはメールで申請者宛てに許可証を送付します。
（注２） 受験当日は許可証を持参し，指定時間，指定場所（許可証と同封）に集合してください。そこで，無症状であるかの確認を行います。

試験当日にいずれの要件も満たした場合は，感染防止対策をとり，別室受験とします。
試験当日に発熱，咳等の症状がある場合には受験できません。

３．受験者のみなさまへのお願い

本学では，試験場等の衛生管理体制に万全を期し，入試を実施します。受験者のみなさまは，以下の新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

≪試験前≫
○ 日頃からの体調管理，不要不急の外出等は行わないなど，感染リスクを避ける行動を心がけてください。
○ 新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者および保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験できません（無症状の濃厚接触者は「２．新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について」をご確認ください)。

≪試験当日≫
○ 試験当日は検温を行い 37.5 度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。
○ 試験場内において，写真照合時を除き，必ずマスクを着用してください。
○ アルコールによる手指消毒，トイレ後の手洗いを行ってください。
○ 発熱，咳等の体調不良の場合には，試験監督等に申し出てください。
○ 換気を行いますので，体温調節が可能な服装をご準備ください。
○ 試験前，休憩時間等は，他者との接触・会話を極力控えてください。
○ 移動の電車等においても，マスクを着用し，友人との会話は極力控えてください。

≪試験終了後≫
○ 入学試験受験後，１週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合には，必ず，福島大学入試課に連絡してください。
○ 入試において感染者が出た場合には，保健所に連絡先等の情報提供を行う場合があります。ただし，提供する個人情報は新型コロナウイルス感染症拡大防止以外には利用いたしません。

※ なお，今後の新型コロナウイルス感染状況によって，令和５（2023）年度入試における新型コロナウイルス感染症の対応が変更となる可能性があります。対応に変更が生じた場合には，本学ウェブサイト（入試情報　http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）で随時お知らせします。

XV　そ　の　他

福島大学入学を希望する外国人留学生のみなさまへのご案内

１．福島大学の国際交流について

福島大学で学ぶ外国人留学生のみなさんに必要な情報が以下のページに掲載されていますので，参照してください。

「福島大学　国際交流」　http://kokusai.adb.fukushima-u.ac.jp/

２．就学・生活上必要な経費等について

福島大学で留学生活を送る場合，入学時および入学後に以下のような経費がかかります。

本学には，外国人留学生が入居できる学生寮や国際交流会館がありますが，入居できる学生は限られています。また，授業料免除制度や奨学金支給団体もありますが，希望者全員に免除や奨学金が認められるわけではありません。学生寮や国際交流会館への入居ができない場合，授業料免除が認められない場合等を想定して，経済面においても十分な計画を立てて受験してください。

⑴　授業料等

本要項 20 ページにある「３.入学時の大学への納入金」に加え，教科書代等が必要になります。

⑵　生活費（http://gakusei.adb.fukushima-u.ac.jp/c_support-03.html）

福島市近郊でアパートに住む場合の家賃は１か月 30,000 円～50,000 円程度。家賃を除く生活費として月額 40,000 円～70,000 円くらい必要です（合計して年額 90 万円～150 万円程度)。

⑶　奨学金制度

本学の私費外国人留学生が受けられる奨学金支給団体は，日本学生支援機構のほか各種奨学団体を合わせて約 10 団体ありますが，競争率が高く，支給を受けられる留学生は一部にとどまっています。

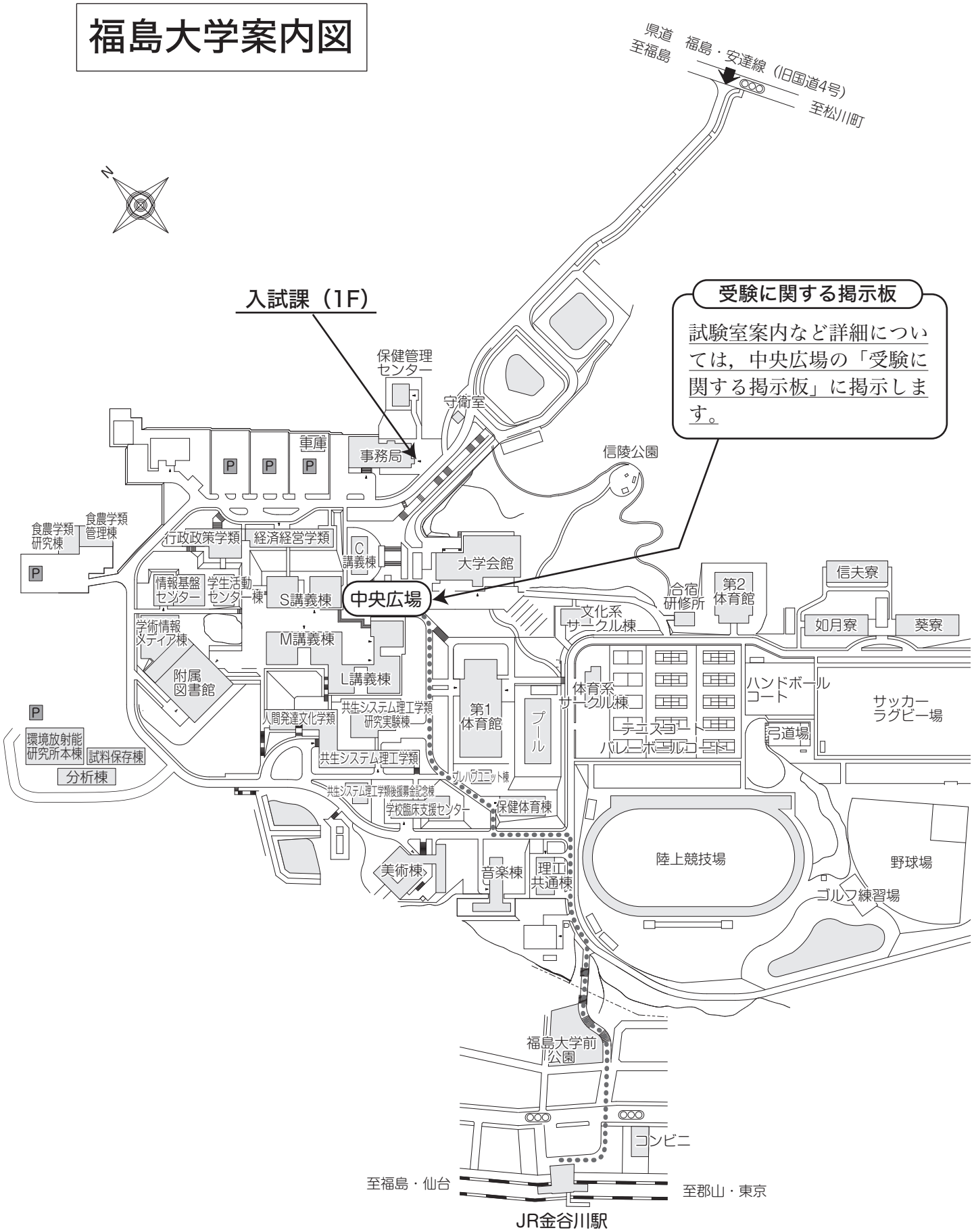
外国人留学生が入居できる学生寮や国際交流会館，受給できる奨学金については，在留資格が「留学」の学生のみを対象としています。詳しくは，国際交流センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先：福島大学国際交流センター　☎　024－503－3067
E-mail:ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp

XVI　令和６（2024）年度人間発達文化学類スポーツ健康科学コースにおける本学が実施する試験の一部変更について　―予告―

人間発達文化学類私費外国人留学生選抜において，令和６（2024）年度入試（令和５（2023）年度実施）から，体育実技は「総合種目」のみ実施します（「陸上競技」「体操競技」「剣道」「ダンス」「サッカー」「バレーボール」「バスケットボール」「テニス」は実施しません)。

福島大学案内図



JR東北本線金谷川（かなやがわ）駅下車
中央広場まで徒歩約10分

国立大学法人
福島大学
Fukushima University